

## 令和 3 年度練馬区災害医療運営連絡会 第 2 回専門部会会議録

- 1 日時 令和 3 年 9 月 1 日（水）午後 7 時 00 分～7 時 45 分
- 2 形式 Web 会議
- 3 出席 丸山委員、野上委員、浅田委員、小田委員、江原委員、野村委員、光定委員、  
清水委員代理、金子委員、高橋委員（地域医療課長）、染野委員（防災計画課長）、  
内田委員（医療環境整備課長）、宮原委員（石神井保健相談所長）  
欠席：秦委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者 0 名（Web 会議のため受付せず）
- 6 次第
- 1 開会
  - 2 議事録について
    - (1) 令和 3 年度練馬区災害医療運営連絡会第 1 回専門部会会議概要
  - 3 議題
    - (1) 令和 3 年度練馬区医療救護所訓練の実施について
    - (2) 災害時における情報共有ツールの増設について
    - (3) 練馬区医療救護カレンダー 2022 について
  - 4 その他
- 7 資料
- 資料 1 令和 3 年度練馬区災害医療運営連絡会第 1 回専門部会会議概要
- 資料 2-1 令和 3 年度練馬区医療救護所訓練の実施について
- 資料 2-2 医療救護所における医療救護班等活動マニュアル（修正案）
- 資料 3-1 災害時における情報共有ツールの増設について
- 資料 3-2 運用イメージ
- 資料 3-3 運用ガイドライン（案）
- 資料 3-4 運用ルール（案）
- 資料 3-5 災害時における情報通信手段の使い分けについて
- 資料 4 練馬区医療救護カレンダー 2022（案）
- 8 事務局 練馬区地域医療担当部地域医療課管理係  
電話 03-5984-4673（直通）

## 会議の概要

---

### 1 開会

(部会長)

ただいまから令和3年度練馬区災害医療運営連絡会第2回専門部会を開催する。

### 2 議事録

#### (1) 令和3年度練馬区災害医療運営連絡会第1回専門部会会議概要

(部会長)

資料送付の際に資料1の会議録の添付が漏れていた。会議直前にメール等で送付しているので、あらためてご確認いただきたい。

### 3 議題

#### (1) 令和3年度練馬区医療救護所訓練の実施について

【資料2-1および2-2について事務局から説明】

(部会長)

9月に予定していた旭丘中学校での訓練については、中止にしようと考えている。区内の感染者数や自宅療養者数も高止まりしており、国の緊急事態宣言も延長される見込みであると報道されている。事務局からは、感染対策を講じた上で10月以降の訓練を実施するとともに、訓練後、発熱患者等に対する対応についてマニュアルに反映させると説明をした。質問や意見はあるか。

(委員)

9月19日の訓練は中止ということであったが、それに伴い、訓練説明会も中止ということによいか。

(事務局)

ご認識のとおり、9月9日に予定していた訓練説明会も中止とする。あたためて通知をする。

(委員)

今回の訓練では、新型コロナウイルス感染症への対応ということで、訓練中、感染疑い負傷者の症例を加え、対応についてディスカッションするとのことだったが、感染防護具は十分な量があるという前提なのか。それによって、対応は異なってくる。

(事務局)

資料2-2に、医療救護所に備蓄している感染症対策として使用できる物品を記載している。マスクやニトリル手袋については、ある程度の量を備蓄しているところではあるが、フェイスシールドやアイソレーションガウンといったものは十分な量ではないかもしれない。この備蓄量を前提にディスカッションいただいて、足りないという意見が多ければ、追加で配備するなど対応していきたい。

(部会長)

10月に2回訓練を予定しているところだが、現在のような新型コロナウイルス感染症の感染状況が続いた場合、中止もやむを得ないと考えているが、今年も各地で強い地震が発生している。あまり中止にしたくはないのだが、訓練開催の可否の判断基準について、意見はあるか。

(委員)

もし、訓練が原因で新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合、社会的にも影響があるだろ

うし、正直なところ、新型コロナウイルスの患者の対応をしている当院では、訓練で人手を取られると苦しいところである。そういったことから、開催する意義は理解できるが、人が多く集まることの感染リスクを考えると、緊急事態宣言中や患者数が多い状況が続いていれば、中止もやむを得ないかと思う。

(委員)

これから10月末にかけて、新型コロナウイルスワクチンの職域接種が始まる。その間は参加できないだろう。

(部会長)

医療現場の皆さまについては、大変な状況が続いていることと思う。今回の訓練では、参加人数を絞るとはいえ、多くの人が集まることに違いはないので、状況を見極めながら開催の可否を検討していきたい。

## (2) 災害時における情報共有ツールの増設について

【資料3-1から3-5について事務局から説明】

(部会長)

来年度8月の本格稼働に向けて、これまで議論を重ねてきた。今回は、あらためて運用ガイドラインやルールを提示するものであるが、質問や意見はあるか。

(委員)

LINE WORKSのアカウントを複数持っている場合、ログインの切り替えがうまくいかない。どのようにしたらうまく使えるのか。

(事務局)

複数アカウントを持っている場合でも、両方のアカウントでログインすることは可能である。しかし、スマートフォンなど1つの端末では1つのアカウントしか表示はされないため、日常使用するものを表示していただければと思う。災害時には、ログイン状態の場合、表示されていないアカウントへ届いた内容は、スマートフォンやタブレットのアプリであれば、通知が届き、その通知をタップすることで自動でアカウントが切り替わる。慣れれば問題ないかと思うが、どちらのアカウントも頻繁に使用することが想定されるのであれば、最適な運用を探っていく必要があるだろう。

## (3) 練馬区医療救護カレンダー2022について

【資料4について事務局から説明】

(部会長)

来年度のカレンダーも引き続き作成するものである。質問や意見はあるか。【特になし】

## 4 その他

(部会長)

その他委員から報告等はあるか。【特になし】

## 5 練馬区災害医療運営連絡会第3回専門部会日程について

(部会長)

次回の会議については、事前に調整した結果、1月26日(水)19時から開催する。

以上をもって、令和3年度練馬区災害医療運営連絡会第2回専門部会を終了とする。